Campus Message

キャンパスメッセージ





1994年4月に滋賀県草津市に開設したびわこ・くさつキャンパス(以下 BKC)が、開設30周年を迎えるに際しまして、学園を代表してご挨拶申し上げます。BKCが30年もの間、地域や社会の皆さまとともに教育・研究の拠点として発展することができましたのも、ひとえに多くの方々のご支援とご協力の賜物と存じます。あらためて深く感謝申し上げます。

本学園では、未来社会のあるべき姿の実現に向け、「学園ビジョンR2030 チャレンジ・デザイン」を策定し、その下で立命館大学として「新たな価値 を創造する次世代研究大学」「イノベーション・創発性人材を生み出す大 学」を柱に据えた様々な施策を展開しています。

学祖・西園寺公望、創立者・中川小十郎の精神を引き継ぎ、建学の精神「自由と清新」のもと、「次世代研究大学」「次世代探究学園」 を目指すという壮大な挑戦です。これまで以上にグローバルに存在感をもち、社会との共有知を創造すべく、邁進してまいります。

BKCでは、国際水準の「文理融合型キャンパス」として、常に新たな教育・研究システムの開発に努めるとともに、「地域に開かれたキャンパス」を目指し、多様な分野において産官学そして地域との連携を進めてまいりました。30周年という重要な節目にあたり、市民、学生、院生、教職員、関係者がそれぞれの想いを結集し、BKCの新たな未来に向けて交流する様々な取り組みを実施します。

BKC30周年記念事業では、「感謝」、「イノベーション」、「チャレンジ」をテーマに据え、その結節点としてBKCにおける教育・研究活動の主要な柱である「Well-being」をメインテーマ、「未来・飛躍」をサブテーマとして展開します。「Well-being」については、BKCにおいて2025年度から地域中核研究大学として産官学地融合の新たなステージを切り拓くべく、「立命館グラスルーツ・イノベーションセンター」および「立命館先端クロスバースイノベーションコモンズ」を立ち上げ、地域と連携した社会共生価値創出の拠点となることを決意したものです。

あわせて、人類の生存圏の維持と拡大に貢献するという壮大なミッションのもと、BKCにおいて開設した「立命館大学宇宙地球探査研究センター(ESEC)」を打ち出す企画を展開いたします。宇宙を「調べる」「つくる・つかう」時代の幕開けに際し、理工系、人文社会系の分野や領域を超えたESECのイノベーティブな取組みを社会に発信してまいります。立命館の、そしてBKCのさらなる挑戦にご期待ください。

2025年には、立命館創始155年・学園創立125周年を迎えます。皆様方におかれましては、今後とも引き続きあたたかいご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

学校法人 立命館

理事長 森島 朋三総 長 仲谷 善雄

Concept

活力になる キャンパスで ありたい

SINEXT SI







次の時代を、ここから創る

通年スケジュールはWebサイトにて

Website Report No.



	開催日	イベント名
	2024/7/21 他	子供向け実験・モノづくり体験企画(全4回)
	2024/10	食科学発展のためのワークショップ
	2024/10	地域ルネサンスBKCサミット~滋賀発の地域活性・まちづくり創生~
	2024/11	経済学部の学びの面白さ講演会
	2025/1以降	地域医療を考えるシンポジウム

11 November

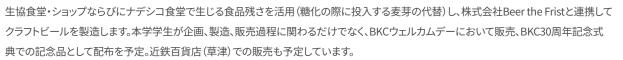
12 December

3 March

通年企画

Beer the 30th

- Upcycling Project by Craft Beer



5月下旬から6月上旬 9月中旬から9月下旬 10月

食品ロスの回収 醸造に向けての準備 醸造、下旬に完成

11月10日 11月17日 12月1日

BKCウェルカムデーでの販売 みなくさつまつりでの販売 記念式典での配布

BKC30周年 × 草津市市制施行70周年 コラボ企画 野口聡一氏講演会 2024/11/4 (月·祝)



@プリズムホール

BKC開設30周年と草津市市制70周年のコラボ企画として、立命館大学学長特 別補佐の野口聡一氏による講演会を実施いたします。『宇宙飛行士として挑戦 して見えてきた地平について』というテーマで、宇宙への挑戦を通じて得られた 知見や宇宙体験に関する講演を予定しています。申し込み方法については、10 月頃を目途にBKC30周年記念特設サイトにて案内する予定です。地域の方々 にもご参加いただけますので、奮ってご参加ください。

※当日はオンライン配信も行う予定です。

BKCウェルカムデー ~びわこ・くさつ健幸フェスタ2024~

2024/11/10(日)



BKCを会場に、地域住民、企業、行政、学生、教職員が集い、ウェルフェア・ ウェルビーイングを感じる産学官民連携イベントを実施します。昨年度開 催では天候にも恵まれ、166企画に13,017名の参加者が集いました。今年 度は「アカデミック」「サイエンス」「スポーツ・健康」「パフォーマンス」「地域 とのつながり」「マルシェ(食)」「SDGs」の7つのカテゴリーに応じた企画を 検討しており、参加者にとって様々な体験ができる機会を提供します。 また、BKCの教育・研究を発信する機会にしたいと考えています。なお、企 画内容については、特設サイトにて公開を予定しています。

BKC開設30周年記念式典

2024/12/1(日)

@立命館大学ローム記念館

BKC開設以来30年間、地域の方々をはじめ様々なステークホルダーと 共に社会共創を推進してきました。多くの方々に感謝を伝える場とする だけでなく、地域における「つながり」を創出しイノベーションを生み出 すキャンパスを創造すること、地域中核研究大学として地域社会ととも に発展することを発信する場としたいと考えています。

式典当日はBKC学園祭も開催されており、キャンパス全体が賑わってい るなかで、本式典を開催します。

「立命館グラスルーツ・イノベーションセンター(GIC)」 「立命館先端クロスバース・イノベーションコモンズ (CVIC)」 開設記念シンポジウム

2025/3 @BKC

BKCでは、2025年3月に経済産業省の「地域の中核大学等のインキュベ ーション・産学融合拠点の整備」(大学等向け)に採択された「立命館グ ラスルーツ・イノベーションセンター」、文部科学省の「地域中核・特色あ る研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に採 択された「立命館先端クロスバース・イノベーションコモンズ」がフロン トゾーンに完成します。地域と連携したオープンイノベーションを加速さ せるとともに、身体圏研究を核とした学際共創によりSociety5.0時代に おける個人・社会のウェルビーイングに向けた世界的研究拠点を目指 します。この完成にあわせてシンポジウムを開催します。

身体圏研究とは?

ウェルビーイングの実現に向けた新たな研究領域への挑戦ー

2024/4/24 他(全4回)



@立命館大学ローム記念館

Society 5.0の進展により現実と仮想が融合する世界で、健康やOOLの向上 (=ウェルビーイング)が重要な課題となっています。その課題に対応するた め、立命館大学はスポーツ健康科学を核とした新たな研究領域「身体圏研 究」を創生します。

この研究では、身体と各種環境(身体内部・社会、現実・バーチャル)との関 係が人の心身にどのような影響を与え、ウェルビーイングにどのように繋が るかを総合知ならびに学際共創から探究します。

第1回(4月実施)では新たな研究領域(身体圏研究)の定義と具体的な社会 像について、自然科学、人文社会科学双方の側面から明らかにしました。 現地会場で66名、オンラインにて136名の方にご参加いただきました。 BKC開設30周年記念事業として全4回(第2回は6月26日、第3回は9月頃、 第4回は11月頃)のシリーズで開催を予定しています。



身体圏シンポジウム(ダイジェスト版) https://www.youtube.com/watch?v=rA9N6VAF0uI

第4回センコーチャレンジ(陸上競技部) 産学共催の公認陸上競技大会

2024/4/27

@Digasエナジースタジアム

(クインススタジアム)



わが国初の試みとなる産学共催の公認陸上競技大会も今年度で4年 目をむかえ、196名の選手にご参加いただきました。一般的な競技会は 地域の競技協会役員や中高教員により運営されますが、昨今の部活顧

問不足により競技会運営に支障をきたしており、地域社会が抱える問 題解決策として学生だけの手で競技会運営を実施しています。また、国 内でも導入事例が少ない電子ペーサーを導入し、多くの参加者に自己 記録更新を目指してもらっています。また、女子中・長距離の強化発展 のため、スポーツの魅力発信することで、地域のスポーツ文化の振興を 図り、豊かな社会の実現に寄与することを目指しています。

なお、当日の様子はあすリートチャンネルでも配信されていますので、 ぜひご視聴ください。



センコーチャレンジ レポート記事

https://www.ritsumei.ac.jp/sports-culture/sports/

BKC開設30周年記念事業キックオフ・シンポジウム 次世代研究大学を目指したこれからのBKCの展開

2024/4/30





BKC開設30周年事業のキックオフイベントに約150名の教職員が参加しま した。第1部では伊坂副総長がBKCの過去と未来について語り、BKCを通じ た社会共生価値の創出について問題提起を行い、「BKCの魅力とこれから の学部・研究科の将来構想」について各学部長より紹介。第2部では社会共 創価値の創出や創発人材の育成に向けたBKCの教育・研究のあるべき姿と キャンパス創造について意見交換を行いました。

BKCは今後つながりを広めそして深めながら、学部を超えた連携や一体感 をもった更なる発展を目指し、つながりを広めるとともに深めながら、学術 研究の豊かさ、多様性を大切にして、より多くの方を巻き込みながら、BKCを さらに発展させることを誓いました。



レポート記事

https://www.ritsumei.ac.jp/news/detail/?id=3652

ホームゲーム企画『Re/LIVE』HOME GAME

2024/5/26, 2024/6/9

@Digasエナジースタジアム (クインススタジアム)



約50名の学生が企画・運営に携わり、「立命館スポーツの応援文化を醸成す る」というビジョンに向けてBKCのDigasエナジースタジアム(クインススタジ アム)でホームゲームを開催しました。5月6日にはラグビー部が関西大学春 季トーナメントとして近畿大学と対戦しました。試合は24対31で惜しくも敗 れましたが、試合前には「立命館大学GENKIラグビーアカデミー」が開催され 約30名の小中学生が大学生と交流しながらラグビーを楽しみました。6月9 日にはアメリカンフットボール部が関西学院大学を迎えホームゲームを開催 しました。スタジアムには約5,500名の学生、教職員、地域の方々が集まり、熱 狂の渦の中、試合終了間際に同点に追いつく感動的な展開となり、24対24の 引き分けとなりました。会場では学生団体、新入生のブース出展、お子様が運 動を楽しめる企画などが実施され、試合観戦だけでなく観客も体験・参加で きる企画を通じて、多くの人々に参画してもらうことができました。



Re/LIVE レポート記事 https://www.ritsumei.ac.jp/sports-culture/sports/ topics/detail/?id=799